

特集2

天体観測ライブ配信
～関東支部会で実施～

石川勝也（開成学園）

1. はじめに

昨年（2020年）の関東支部会の発表では、悪天候のためライブ配信を行うことができなかったため、今回やっつてはいかがかとお誘いを受けたことから、やることにした。時間は30分、船橋市の自宅屋上で実施した。

2. 機材とその用途

まずは機材の紹介をして、どのようにして配信しているのかをご理解いただいた。

使った機材は、望遠鏡が21cm反射、12cm屈折、ほかに300mm望遠レンズである。それらにソニーの高感度一眼カメラα7sをつないで動画で配信する。星座以外の天体については適宜使い分け、惑星や二重星には21cm反射と12cm屈折、星雲・星団・銀河には300mm望遠レンズを使った。

星座はPanasonicの高感度のビデオカメラで広角にして撮影した。

スイッチャーを利用して、次の4つの画像を切り替えながら配信した。

- ①自分や望遠鏡を写すビデオカメラ
- ②上記のα7sの画像
- ③上記のPanasonicのビデオカメラ
- ④星図やパワポを表示したPCの画像

3. ライブ配信の内容

種類	その1	その2
惑星	天王星	木星
星座	オリオン座	カシオペア座
二重星	アンドロメダ座γ	おひつじ座γ
星雲・星団	オリオン座M42	すばる(M45)
銀河	アンドロメダ座M31	———

配信は21時ごろからということで、金星や土星は没しているため、表のような天体を手動で次々に導入して動画で流した。

説明は、場所を提示するための星図シミュレーション画像や、導入途中の望遠鏡の画像をスイッチャーで切り替えながら行った。

導入した天体の画像を見せることで、天体観測の疑似体験をすることができたと思う。

手動で導入するようすも、別のビデオカメラで撮影することで確認できただろう。



図1 手動導入のようす（別のときの画像）

4. 感想など

Zoomのチャットで感想をいただいた。惑星の見え方、二重星の見え方（おひつじ座γが双子のようだ）など。導入中のようすも見えるのが楽しい、導入方法が参考になるという感想もいただいた。

ここに感謝の意を表します。

5. おわりに

ふだんはYouTubeライブを利用して、週1回程度天気のいい日に配信している。

よかったら見てください（「カツヤch」で検索すると出てきます）。